

## 令和 8 年度「カリキュラム・マネジメントの充実に向けたモデル開発」研究協力校 年間実施計画

### 1. モデル開発計画（目安）探究のスパイラルは計 4 回（前期に縦割り探究学習 2 回⇒後期に個別の探究学習 2 回）

- ・小学校 縦割り 30 コマ 個別 30 コマ 30 コマ×45 分＝最大 1350 分（一週間の余白最大 140 分）前期(後期)18 週に授業時数 1350 分を割り振る
- ・中学校 縦割り 30 コマ 個別 30 コマ 30 コマ×50 分＝最大 1500 分（一週間の余白最大 140 分）前期(後期)18 週に授業時数 1500 分を割り振る
- ・教員研修は、前期 15 回、後期 15 回を実施。 ※探究学習は、小学校は令和 7 年 8 月 26 日から、中学校は令和 8 年 1 月 9 日から開始済み。

### 2. 年間実施計画 探究のスパイラル：①課題の設定⇒②情報の収集⇒③整理・分析⇒④まとめ・表現⇒①⇒②⇒③⇒④

R8 年度		小学校			中学校		
月	週	協働的探究学習	探究学習のねらい	教員研修	協働的探究学習	探究学習のねらい	教員研修
4 月	3	①→② 探究 1 回目	【協働探究】生活体験、他者参照、社会や地域とのつながり等から深い学びにつなげる。 【個別探究】異学年集団が興味・関心に応じた学び方・情報活用能力の向上につなげる。	3	①→② 探究 1 回目	【協働探究】生活体験、他者参照、社会や地域とのつながり等から深い学びにつなげる。 【個別探究】異学年集団が興味・関心に応じた学び方・情報活用能力の向上につなげる。	3
5 月	3	②→③		3	②→③		3
6 月	4	④→① 探究 2 回目		4	④→① 探究 2 回目		4
7 月	3	②→③		2	②→③		2
8 月	1	③		0	③		0
9 月	4	④→①		3	④→①		3
前期	18	30 コマ最大 1350 分	個別の探究学習	15 コマ	30 コマ最大 1500 分	個別の探究学習	15 コマ
10 月	3		①→②探究 1 回目	3		①→②探究 1 回目	3
11 月	4		②→③	3		②→③	3
12 月	3		④→①探究 2 回目	2		④→①探究 2 回目	2
1 月	3		②→③	3		②→③	3
2 月	3		③→④	3		③→④	3
3 月	2		④→①	1		④→①	1
後期	18		30 コマ最 1350 大分	15 コマ		30 コマ最大 1500 分	15 コマ

### 3. 評価基準（ループリック）

評価	縦割り探究学習 評価基準例
A	必要な情報を多様な方法で収集し、整理・分析して新しい視点を示している。他者の意見を取り入れながら自分の考えを発展させている。
B	情報を収集し整理しているが、分析や考察を述べている。協働的な活動に参加し、意見交換をしている。発表やレポートは概ねわかりやすい。
C	課題への関心が弱く取り組みが消極的。情報収集や整理が不十分で考察が浅い。協働的な活動での発言や貢献が少ない。根拠が示されていない。